学習内容報告書 フォーマット

学校名	静岡県沼津市立静浦小中一貫学校
授業者	鈴木沙織

1. 単元計画

1-1. 単元名

静浦の海を知ろう、伝えよう

1-2. 学年

８

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、保健体育、学活

1-4. 単元の概要

「課題の設定」では、今まで静浦学習でお世話になってきた静浦漁協青壮年部の綾部さんの話から、海の魅力や海を生かした取組を改めて再認識する。また、静浦の魅力についてまだ知らないこともあることに気づき、調査をして、外部から静浦に訪れる人はもちろん、地域の人たちに、自分たちが目で見て感じてきた静浦の海の魅力を伝える一人になろうと意欲をもち、「静浦の〇〇という魅力を伝えたい」という気持ちになっていく。

次に「情報の収集」をするために、今までの学習で使ってきた３つの収集方法（インタビュー・アンケート、本・インターネット、フィールドワーク）を想起し、伝えたい魅力の内容についてどのような方法で情報を得ることが適切なのかについて考える。そして、「どのような情報を、どのくらい調べたらいいのか」と、取材計画を立て、質問を予想し、見通しがもてるようにする。

「整理・分析」では、情報収集後、記録用紙に集めた情報は、まず付箋に書き出し、釣れる魚や遊漁船のよさ、サンゴの育つ海の特徴など、観点をいくつか決め、伝える相手にとってより分かりやすいものにしようと、情報の共通点や相違点を見い出し、分類して整理する。

「まとめ」では、「静浦の海の魅力」を伝えるために様々な情報を整理した子どもたちが、「伝えたい相手」にとって、魅力的な情報になっているかどうかについて、友だちと対話的に話し合うことで、より説得力のある内容にしていく。対話の中では、「情報の取捨選択」「共通の情報をまとめる」「他の友達の情報とつなげて加える」「伝えたいことを筋道立てて並べ替える」という視点をはっきりさせて、相手が納得する魅力になっているかどうか、魅力の中身について練り合っていく。そのことで、相手に対して伝える内容が分かりやすく、より明確になり、さらに自分のテーマに合った伝えたい魅力へと再構築していく。

最後に「表現」では、まとめた情報をポスター形式で発信の準備をしていく。ポスターには、相手意識をもち、写真なども入れるようにする。また、伝える時には、中学生の自分たちが静浦のためにできることは何か、静浦が今後も海とともに成長していくためには、どうしたらいいかというところまで広げて表現できることを期待している。

1-5.　単元設定の理由・ねらい

これまで海とともに育ってきた静浦地区の一員として、海の魅力をより多くの人に知ってもらいたいという思いをもつところからスタートする。静浦の海の魅力を発信することを通して、個人テーマをもとに、地域の一員として課題解決に取り組もうとする態度をこの４つの探究の過程を通して育んでいきたい。子どもは、常に全体テーマ、個人テーマと照らし合わせながら、明確な目的意識をもち、伝えたい相手にとって説得力のある魅力を発信していこうと追究していく。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

・静浦の海の魅力を伝えるために聞き取ったり調べたりした内容を、まとめたり情報交換をしたりすることで多様な意見や見方があることを知り、静浦の海の魅力を再確認しながら取り組む。（主体的な学習態度） ・インタビュー・アンケート、本・インターネット、フィールドワークを活用して、個人テーマの仮説を検証するために、情報を集め、整理・分析し、個人テーマの主張を全体テーマに関連づけることができる。（学習方法に関すること） ・静浦の海の魅力を伝えるために、全体テーマに沿って、自ら見い出した問いから個人テーマを決定し、どのように情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現を行っていくのかという過程を経て、地域の一員として静浦が今後も海とともに成長していくためには、どうしたらいいかというところまで広げて表現することができる。（自己の生き方を考える力）

1-7.　単元の展開（全 10 時間）

時数	学習活動・主な内容	○教師の指導 / ☆主な評価 ・外部連携 / 使用教材等
1 ～ 5	第１次（課題設定） ○スノーケル体験…体育で２時間。（７月６日～） ○体験ダイビング（８／６，８）※希望者のみ ○静浦のサンゴ学習（東海大学）（１，２） ○静浦を知り尽くした方に、静浦の魅力を聞く。（綾部さん）（３） ○静浦の海の魅力とはいったいなんだろうか…全体テーマ（４） ○自分が思う魅力を予想する。 ・静浦の海にサンゴを増やすにはどうしたらいいのだろうか。（環境） ・ダイバーはなぜ静浦までダイビングをしに来るのだろうか。（観光） ・なぜ静浦漁港に釣り人が沢山来るのだろうか。（環境、観光）…個人テーマ　（５）	○外部指導者の方に日程などの調整を行う。 ・獅子浜ダイビングサービス（齋藤さん） ①学校プールでのスノーケル体験 ②獅子浜の海でのスノーケル体験 ・東海大学（中村先生、中島先生） ①大学生によるサンゴ教室（雨天時） サンゴの植え付け体験、スノーケル体験 ・明栄丸 綾部通雄さんと生徒の対談 ☆今まで知っている情報から、静浦の魅力について予想し、調べようとしている。

6 ～ 7	第２次（情報の収集） 〇どのようにして情報収集をしたらいいかな ・収集方法を決めて、調査計画を立てる。 （聞くことなど）（６） 〇情報を集めよう（７） （観光）釣り人にインタビューしてみよう ・シーマンズさんや潜りに来ているダイバーの方に話を聞いたりアンケートを取ったりしてみよう ・静浦漁港で取れる魚について調査しよう ・シーマンズさんに話を聞いてみよう ・ブルーコーナーさんに聞いてみよう	〇調査先について、情報を集める。 ・（インタビュー先） 獅子浜ダイビングサービス ブルーコーナー 静浦漁港青壮年部 釣り人 ☆実際にフィールドワーク（インタビュー）を行い、情報を集めようとしている。
8 ～ 9	第３次（整理分析） 〇集めた情報を整理、分析し、個人テーマに対する答えを見つけよう。（８、９）	〇情報の整理の方法について想起させる。 ☆集めた情報を伝える相手にとってどうやって整理すればよいのかについて考えようとしている。
10	第４次（まとめ、表現） 〇全校の児童生徒に、静浦の海の魅力をポスターで発信しよう（１０）	〇ポスターの構成を考えさせる。 ☆どの情報をポスターに入れてば、相手に伝わるのかを考えながらポスターを作っている。

2.　学習活動の実際

2-1.　単元における位置づけ

単元　１０　時間中の　９　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/ 単元 15 時間中の 4,5 時間目

2-2.　本時の目標

Ａ：静浦の海の魅力を伝えるために集めた情報は、説得力あるものになっているのか確かめたいと思っている。

・得た情報をもとに、もう一度情報を整理し、練り合う。

・全体テーマの視点に戻り、考えをつなげる。

Ａ’：目的意識をもって根拠を示すことで説得力ある内容に深めることができる。

2-3.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	＊教師の指導・支援 /☆評価の視点（方法）
○静浦の海の魅力伝えるために、情報を集めることはできたかな。（全体） ・情報は十分集まった。 ・集めたものを付箋に書き出すことができた。 ・付箋に書いた情報をもう少し整理したい。 ◎自分の集めたものは、伝えたい人にとっての魅力に本当になっているのだろうか。	＊前時までの振り返りをする。
○伝えるための情報をもう一度整理し直そう。（小集団） ・魅力は水質の良さ。水質の良い静浦だから海の生態系が整っているし、サンゴが順調に育っている。水質が良いから魚も棲みつくし種類も豊富。だけど、ゴミが多くてボランティアでゴミ拾いをしてくれる人たちがいるのも現状。 ・魅力はサンゴがあること。サンゴは温暖な気候や水質が良くなければ生きていくことができない海の生物で、褐虫藻という微生物と共存して成長している。駿河湾に面していることとサンゴが育つ環境が揃っているのは静浦の最大の魅力。 ・静浦では、季節によって様々な魚を釣ることができ、魚の種類が多いことが魅力。駿河湾に面していて、深海魚も釣ることができる。この環境を維持していくためには、環境面にも気を配っていかなければならない。ゴミを持ち帰り、マナーを守ってより多くの人に釣りを楽しんでもらいたい。	＊友達との情報の共有をして良いことを伝える。 ＊話し合いが有効な手立てとなるよう、意図的に３人組を作る。 ＊視点ごと付箋の色を変え、考えの変容が見て分かるようにする。 ＊仲間の意見や考えを聞いて、疑問に思ったことを質問したり、関連することを見つけたりして、考えをつなげる。 ☆静浦の海の魅力を伝えるためにそれぞれの情報のつながりを捉え、まとめることができる。 【ワークシート】 ☆どのように考えをまとめたらいいのか迷っている場合は、仲間の意見も参考にして考えるように伝える。

・最高のロケーションでダイビングを楽しめるのが魅力。透明度が良く、沖縄の海に匹敵する美しさがある。ダイビング以外にも、ＳＵＰやシーカヤック、スノーケルを楽しむことができる。東京から２時間でアクセスの良さも魅力的。 〇この学習を通してどんなことに気がついたかな。 ・静浦の海は魅力がたくさんある。 ・それぞれの良さが実はつながっていると思った。 ・調べたことをしっかりとまとめて、伝えたい。	＊全体テーマの視点に戻り、話し合ったことをもとに考えをつなげる。

3.　今回の活動の自己評価

「まとめ・表現」につなげるために、「整理・分析」では十分に時間を取れるようにする。インタビューやフィールドワークなどで得た情報を付箋にまとめ、考えを作ることで１時間使う。次の１時間で、手元にある情報で静浦の海の魅力を伝えることができるのか、取捨選択するために１時間使う。また、仲間の意見や考えを聞いて、疑問に思ったことを質問したり関連することを見つけたりして良いことを伝え、考えをつなげられるようにする。

4.　今後の課題

・東海大学のサンゴ講座や、綾部さんの話は、継続して行いたい。
・フィールドワークは、月曜日の５時間目に行けると良い。場所は、獅子浜ダイビングサービス、ブルーコーナー、静浦漁港

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

　静浦の子供にとって、人口が減り続け、大きなお店もない地元は、特段魅力的ではないため、静浦のよさを普段実感する機会もない。しかし、実際は海の魅力を最大限に生かして仕事をしていたり、どこよりも静浦が魅力的だと感じたりして移住してきた方がいる。そのため、教員自身が、地域の魅力を知り、地域の人材を見つけていくことがこの単元の大前提となる。

Enjoy!! 静浦の海

手軽に入れる! 遊べる!

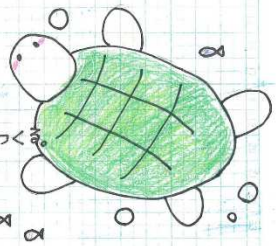
① マリンスポーツ

静浦は学校から一番近いダイビングエリア!!

ダイビングやSUP、シーカヤック…etc など
海でたくさん遊べます!!

すぐに深くなる海なので たくさんの魚や めずらしい魚が見れる!!
いろんな生物がいる海。(マンボウ・サメ・イルカなど)

8月 9月 10月 辺りが一番良い!!



② シーグラスや流木アート

☆シーグラス☆
波でけずられてキレイになったビンなどでつくる。

☆流木アート☆
流木を持って帰ってかざったりする。

話を聞いて!!

静浦の海で出来ることが
たくさんあってビックリしました!!
身近な海で楽しむことがこんなにあって、たくさん遊んでみたいと思いました。